

夏祭りがやってくる

大河ドラマ『天地人』で仙桃院を演じた高島礼子さんが、今月放送の番組ロケで、市役所に来庁されました。なんといっても長尾政景公の正室にして、景勝公のご母堂様。美しさはもちろん、聡明さを感じさせるお話しぶりや品のあるオーラ。大女優とはかくもあるか、と唸りました。「ご縁あつてごはんは毎日南魚沼産コシヒカリです」のお話に一同感激。同時に、あの放映と大フィーバーから9年もたつのかとの思いも。

来年は直江兼続公の没後400年。年忌である今年、山形県米沢市ではシンポジウムや宝物展などが盛大に催されています。メインとなる5月の上杉まつりに歴史親善友好都市の市長として招かれました。謙信公出陣の儀と伝わる「武禊式」の再現など戦国絵巻がショーアップされ、多くの来場者を魅了していました。ここで活躍されている「米沢藩古式砲術保存会」のみなさんが、兼続公まつりでも毎年大迫力の砲術を魚野川河川敷でご披露くださっています。

今年の演武は、日中を避け涼しく人も多くなる花火大会前の夕方にご披露いただきます。来年は、大河のフィーバーから10年目、400年の好機。折よく国指定史跡の坂戸城跡の石垣修理工事が完了予定。お披露目や記念事業を考えたい。米沢市にある宝物の貸し出し協力を中川米沢市長に打診しました。上越市の春日山と坂戸を結ぶ歴史を偲ぶ上杉軍道。このラインをほくほく線が走る。地域をあげて観光アピールもできるので。顕彰と継承をめざして新たな始まりに位置付けたいと思っております。

各地区で夏祭りがはじまります。威勢のよい声や美しい花火などが南魚沼の夏を彩るでしょう。祭りの思い出は私にも。小遣いをもらい指折り待った幼き日。着てゆく服に迷った思春期のころ。学生暮らしの他町の祭りに味わった望郷の念。大人の仲間入りをしたような気分を味わった若衆のころ。子どもを肩車して露店を巡った父親になりたてのころ。いろいろな思い出が人それぞれに。すばらしい夏となりますように。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ～ boast of my country ～

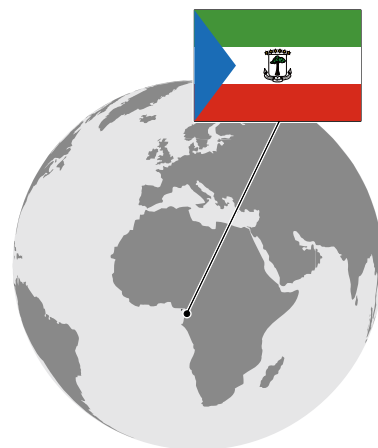
シリーズ
第63回

赤道ギニア共和国 ミゲル エンジェル ボオレテ ボオルプさん



私の国はこんなところ

赤道ギニアは、アフリカの小さな国で、アフリカでは唯一公用語がスペイン語です。また、アフリカ第3の産油国です。私は、国際大学初の赤道ギニア人学生としてやって来ました。ビオコ島にある首都マラボ出身で、ブビ族です。民族は全部で6のグループがあり、民族によって異なった料理を作るので、国全体ではさまざまな料理があります。私のブビ族はパーム油を使った野菜スープをよく食べます。観光地はバジーレ山（標高3,011m）や、珍しい品種の動物が多数生息するモンテアレン国立公園、また、白砂のビーチがあるアンノボン島、コリスコ島があります。



赤道ギニア共和国

[公用語]	スペイン語
[首都]	マラボ
[面積]	28,051km ² (141位)
[人口]	676,000人(163位)
[GDP(PPP)]	223億ドル(108位)
[通貨]	CFAフラン(XAF)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説(PPP)により算出した数値です

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼での一番の体験は、街が自然と調和し、豪雪を生き抜く伝統や技術、知恵を見たことです。例えば、消雪パイプや木の雪囲いにはとても驚きました。浦佐毘沙門堂裸押合大祭や火渡り祭など伝統的な祭りに参加したこともいい思い出ですが、スキー、スノーボード、温泉が最高の思い出です。鮎、天ぷら、おにぎり、特に冬に食べるラーメン、うどんが好きです。